

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	北海道支部	(2)記載者氏名:	鈴木 和夫	会員番号:	13172	事務局整理記入欄	北海道 - 141
分水嶺区分:	タケノコ山~H112社満射岳~P1051	(3)山行日:	2005年 3月 19日	(4)天候:	曇り時々晴れ		

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

漆崎 裕子	13041	石田 栄子	会友 4				
鈴木 和夫	13172						
計			3名	計			名

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	タケノコ山~H112社満射岳~P1051												
アプローチ:	札幌~幾寅~南富良野スキー場 金山峠~札幌												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	リフト終点	幾寅	142	32	38.33	43	9	15.60	781		10:10		(8)
分水嶺到達点	タケノコ山	幾寅	142	32	3.65	43	7	52.50	1,041	13:20	13:40	B-4	(9)
H112	社満射岳	幾寅	142	31	27.26	43	7	59.77	1,062	14:58	15:00	B-4	(9)
	P1051	幾寅	142	30	56.60	43	7	56.83	1,052	15:35		B-4	(9), C1
分水嶺離別点													
歩行終了点													
総歩行時間(休憩時間を除く):												6時間00分	

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
H112	社満射岳				積雪のため未確認

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

幾寅には南富良野町営スキー場があり、ここの2本のリフトを乗り継いでP781mに出た。

(9)水および植生に関連した特記事項

リフト終点から、タケノコ山手前までの尾根にはとど松の高齢級樹林があり、標高が上がると共にダケカンバなどの広葉樹林帯 国境稜線は広葉樹真カバ、ダケカンバの疎林と灌木。社満射岳付近で一部ハイマツが雪上に頭を出している。

(10)その他の特記事項

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: